

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	株式会社 学研R&C
所在地	東京都大田区仲池上1-17-15 学研第2ビル
評価実施期間	平成19年10月1日～平成20年1月31日

2 評価対象事業者

名 称	浦安市立富岡保育園	種別： 保育所
代表者氏名	小出 清美	定員（利用者人数）： 166名
所在地	千葉県浦安市富岡3-1-6	TEL 047-351-5335

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◆ 特に評価の高い点

園として掲げている重要なテーマの一つに「食育」があります。園が一丸となって取り組みを進めているところです。子どもが栽培した野菜を食材に取り入れたり、盛り付けを工夫したりしています。

食事の量は、子ども一人ひとりの状況で加減をし、徐々に、食べられる量を最初から自分で決められるようにしています。

クッキング保育では、味噌づくりも行っています。

「地域交流」にも力を入れています。園庭開放や電話相談、あるいは、出前講座、小・中学生の保育園体験やボランティアの受け入れなどにも努めています。園での行事や催し物については、ポスターの掲示やチラシの配布を行っています。

サービスの標準化を図るため、職員一人ひとりが共通の個人ファイルを持っています。そこには、各種のマニュアル、年間の研修日程や行動指針などがファイルされていて、対応について常に参照できるように配慮しています。必要に応じてマニュアルによるシミュレーションや研修を行っています。職員会議には、このファイルを各人が必ず持参し、会議のテーマに応じて必要書類を参考にしながら会議を進めています。

◆ 特に改善を求められる点

「地域交流」のさまざまな試みについて、評価の高い点に挙げました。その試みを評価したわけですが、効果については、「保育サービス利用者調査」で少し厳しい評価になっています。ここから推測されることは、園での行事や催しに際し、広報活動や運営、事後処理や分析・評価に問題がなかったか、ということです。このことは、園の運営、例えば、父母会、保育参加、保育サポーターの教育、個人情報保護などについても「保育サービス利用者調査」は比較的厳しい評価をしています。

そこで今後の課題として、利用者のニーズをよりの確に把握し、サービスに生かすため、職員や利用者からの意見や提案が反映されるようなしくみ作りが必要です。つまり、利用者満足に関する調査の担当者・担当チームの設置や、把握した結果を分析・検討するための「利用者も参画した検討会」の設置が望まれます。

マニュアルについては、ほとんど揃っていますが、多すぎる嫌いもあります。重複も見受けられますから、整理統合して、より使いやすくまとめることを提案します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

初めての事なので園としても新鮮な刺激を受けて真剣に取り組んでいく事が出来ました。

保育サービスという文言を改めて考え指針からねらいを抽出し、子どもの最善の利益を第1に捉えていく専門性を保護者にもフィードバックして考えて頂く保育そのものの評価もポイントとして取り入れてほしい。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

子どもの育ちを一番に考え、保護者と連携していく心構えでこれからも地域の中でと
もに歩んでいきたい。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
I 福祉サービスの 基本方針と組織	当保育園は子どもたちの育ちの連続性を大事に考えています。乳児から幼児、そして小学校への移行がスムーズになるためには、小学校ではどんな子どもたちを望んでいるか、そしてそのためには保育園ではどんな保育を心がけなければならないかを職員会議で話し合ったり、小学校の先生に聞いたり、他園の園長とも話し合ったりしています。と同時に、保育の質を高めるために、職員を3つのチームに分け、それぞれ未満時保育の充実、時間外保育の充実、保護者からの苦情や意見への対応というテーマを掲げ、園長や主任が中心となって職員全員がどれかのチームに入り取り組んでいます。
II 組織の運営管理	地域との交流や連携は開かれた保育所として大事であること、また、子育ての発信基地としての保育所の役割を自覚しています。それゆえ、園庭開放や電話相談、あるいは、公民館やファミリーサポートなどの出前講座、小・中学生のボランティア受け入れなどできるだけ多彩な活動をしています。そして、それらの活動を地域の母親たちに認知してもらうために、ポスターの掲示やチラシの配布をしています。また、「あそびましょ」という情報誌を発行して親子でできる色々な遊びを紹介して喜ばれています。
III 適切な福祉サービスの 実施	職員一人ひとりが共通の個人ファイルを持っていて、そこには、サービスに対応するための各種のマニュアル、年間の研修日程や行動指針などがファイルされています。サービスをより適切に実施するために、マニュアルによるシミュレーションや研修を行ったり、職員会議には、このファイルを各人が必ず持参し、会議のテーマに依じて、必要書類を参考にしながら検討を進めています。 また、連絡ノート、保育参観後のアンケート、意見箱、園庭開放、出前講座などを用いて、利用者や地域住民の福祉ニーズを把握しています。それらを分析し、園ができる支援、利用者や地域住民が望んでいる支援などを実施しています。 そこで、さらにサービスの向上を図るため、今後の課題として、利用者満足に関する調査の担当者・担当チームの設置や、把握した結果を分析・検討するために、利用者も参画した検討会の設置などが望まれます。

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
IV サービスの内容	散歩コースには恵まれており、散歩先の公園で広い芝生で遊んだり、身体を十分に動かして遊んだり、季節の変化を感じる機会となっています。園で野菜の栽培をしたり、隣地の公民館の畑で、様々な野菜に触れたりする機会も多くあります。 年齢に応じて、集団あそびやごっこあそびなど子ども同士のかかわりが活発になる遊びを取り入れています。異年齢交流の機会も意図的に取り入れ、日常も年長の子どもが年少の子どものおてつだいをしています。 保育士は一人ひとりの子どもに、ていねいにかかわることを心がけ、子どもの話をじっくりと聞くよう努めています。クラス内で毎日、振り返りの時間を持ち、「安心感、信頼感を感じて豊かで健やかな心を育てる」という園目標に向けて、日々保育に取り組んでいます。

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目			
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	①理念が明文化されている。	a	
			2	②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	b	
			4	②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	a	
			6	①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	a	
		(2) 重要課題の明確化 (3) 計画の適正な策定	7	①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	a	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a	
			9	②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b	
II 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	b	
			11	②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	
	3 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	13	①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	b	
			14	②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	a	
			15	③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	a	
	(2) 職員の就業への配慮	(3) 職員の質の向上への体制整備	16	①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	a	
			17	②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	a	
			18	①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	a	
			19	②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a	
			19	③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。	a	
	4 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	
			21	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a	
	5 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	①地域との交流・連携を図っている。	a	
			23	②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	a	
			24	③事業所が有する機能を地域に還元している。	a	
			25	④関係機関等との連携が適切に行なわれている。	a	
			26	①地域の福祉ニーズを把握している。	b	
	III 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	b
				29	②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	b
				30	①利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	a
(2) 利用者満足の上			(3) 利用者意見の表明	31	②利用者満足の上に向けた取り組みを行っている	b
				32	①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	a
				33	②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	a
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	34	③利用者からの意見等に対して迅速に対応している	b	
			35	①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a	
			36	②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	a	
		(2) サービスの標準化	(3) 実施サービスの記録	37	③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	a
				38	①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	a
				39	②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	a
				40	①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	a
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	41	②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	a		
		42	①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	a		
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	43	②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	a		
		44	①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a		
	(2) 個別支援計画の策定	45	①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	a		
		46	②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	a		
		47	③個人情報保護に関する規定を公表している。	a		

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		
IV 保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
			2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
		(2) 健康管理・食事	3	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
			4	健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
			5	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
			6	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
			7	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
			8	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
			9	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
		(3) 保育環境	10	子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	a
			11	生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	a
		(4) 保育内容	12	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
			13	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
			14	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
			15	身近な自然や社会と関わられるような取組みがなされている。	a
			16	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
			17	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
			18	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
			19	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a
	20		長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a	
	21		障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a	
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
			23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
			24	こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
			25	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
			26	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
		(2) 一時保育	27	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	-

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立富岡保育園

評価基準		評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織	項目 番号		
I-1 理念・基本方針			
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	1	a	これからの子育ては、保育園と家庭だけでなく、地域の力や小学校との連携がより一層求められてきています。そのことを念頭に、公立保育園7園で立てた理念、「子どもたちの健やかな成長を目指す」「安心して、生き生きと子育てできる支援を目指す」「子どもと家庭を見守り、ささえあえる保育園を目指す」を掲げています。この理念は、玄関に掲示されていますし、入園時に配布する冊子にも載っています。
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a	「日々登園する子を暖かく受け入れ、心身共に安定した状態での十分な遊びを通して、意欲と思いやりの心をはぐくむ保育を重視」、そして、「家庭が育児主体性をもち、親子の絆が、より生き生きとしたものになるよう援助する姿勢を大切に」といった方針を明示しています。
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	b	理念や基本方針は、常勤職員については年度はじめの職員会議で十分説明して理解を図っています。非常勤職員については、毎月1回の打ち合わせがあるものの、十分に説明しているとは言いがたい状態です。また、中途採用の職員についても同様です。 理念や基本方針は、園の運営にあたっての根幹をなすものですから、今後は、職員会議や非常勤の打ち合わせなどに限らず、機会をとらえて繰り返し説明し、確認しておくことを望みます。
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	a	「入園のしおり」や「園の概要」に記載されています。そして、入園の面接の際に、文書や口頭できちんと説明をして、周知を図っています。また、懇談会など保護者が集まる際は、そのつど説明しています。
I-2 計画の策定			
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	a	浦安市では、子育て支援総合計画で、いくつかの計画を策定しています。具体的には、まだまだ待機児が多いので、保育園の整備計画や地域の子育て支援の一環としての一時保育の充実、さらには、乳幼児の健康支援などがあります。
I-2-(2) 重要課題の明確化			
I-2-(2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a	上記の計画を受けて、現在、園庭開放をして地域住民への支援をしています。今後は現状の把握、問題点を反省しながら支援の拡充を図っていくことを課題としています。 また、地域の子どもたちがスムーズに小学校へあがり、楽しい学校生活をおくるためには、保育園としてどのような取組をしていったらよいか、他園の園長と話し合っているところです。
I-2-(3) 計画が適切に策定されている。			
I-3-(1)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	a	各係りや行事の計画表を作成し、職員と管理者が意見を出し合い、よりよい計画になるように取り組んでいます。当園では職員を3つのチームに分け、それぞれ、未滿時保育の充実、時間外保育の充実、苦情や意見についてのテーマに取り組んでいます。

評価基準		評点	コメント
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a	福祉サービスの現状や問題点などを、ほかの公立園の園長たちと話し合っ把握するように努めています。また、職員とは面接を実施して、各自の保育に対する取組やどこをどう伸ばしていったらよいかについてのアドバイスなど、保育の向上につながるよう取り組んでいます。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	b	現在、浦安市の公立保育園は主任クラスの職員が多くいます。そこで、主任クラスの仕事を充実させることが、業務の改善や質の向上につながるの考えから、主任研修に取り組んでいます。 なお、経営的観点からの収入と支出のバランスを図るための取組はこれからです。今後は、園長や主任などの管理者が、経営に関する認識を深めていくことを望みます。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ 組織の運営管理			
Ⅱ-1 経営状況の把握			
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	b	地域の子育て支援センターやファミリーサポートなど、福祉事業の動向を把握し、交流を図っています。しかし、まだまだ職員の意識はうすいように感じます。地域の自治会との連携も十分とはいえません。日々の保育、記録や書類を作る事務時間の増加など、忙しいことはわかりますが、今後は、地域の人口動態や待機児の分布、子どもを持つ親の意識や要望、数年後予測される変化などについて、視野を広げていくことを望みます。
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a	管理者クラスは、公設民営の保育園や認定子ども園との違いを明確に分析し、公立園として独自の保育をどう展開していったらよいかに取り組んでいます。また、職員全員がチェックリストで振り返り、改善を図っています。
Ⅱ-2 人材の確保・養成			
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
Ⅱ-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	b	「全国保育士会倫理要綱」に基づき、職員会議で説明をして周知を図っていますが、まだ十分とはいえません。長年の無意識の習慣を完全に払拭するためには、職員同士が、種々の問題点、例えば、呼び名や玩具の選別など性差に関すること、守秘義務や逆に情報の開示の手続きなど、倫理に関するプロジェクトを組んで取り組むことを望みます。
Ⅱ-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にやっている。	13	a	職員の異動や希望については、市へ自己申告書を提出して、なるべく希望に沿うようにしています。人事方針の策定や職員採用は市が行っています。園としては、現状の人員構成を検討して、問題点を抽出し、情実を排除した客観的な形で市に提案していくことにしています。
Ⅱ-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	a	評価は、通年の自己評価として一人ひとり申告しています。管理者は、その自己評価に基づき、勤務の実態、保護者への対応、子どもへの言葉かけ、保育内容の質などジャンル別に項目を整理して、一人ひとりの仕事への取組を評価し、記録しています。今後は、自己評価と対応して、管理者が面接を通して評価し、説明をしていくとよいでしょう。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
Ⅱ-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	a	職員の有給消化率や時間外労働などのデータを定期的にとって、チェックしています。また、就労環境についての要望も、園長が職員に面接を行い、現場の意見を聞いています。園の姿勢としては、産休、育児休業などの取得を当然の権利と考えていますが、実態としてはなかなかとり難い状況にあるのも現実です。
Ⅱ-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	a	浦安市職員が入ってる「職員互助会」があります。また、職員一人月1500円を会費として徴収して、食事会や歓迎会、忘年会などのレクリエーションを行っています。職員の就労関係では、育児休暇や部分休業、療養休暇など、必要に応じて取得しやすい環境を整えています。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	a	<p>浦安市主催の年間研修には、基本的に参加するようにしています。また、千葉県社会福祉協議会主催の研修にも参加しています。こうした研修には積極的に参加して、技術の向上や保育の質を高めるようにしています。</p> <p>今後はさらに、職員に対して研修の大切さを訴えとともに、非常勤職員に対する研修のあり方も検討して、保育所全体の質の向上を図っていくことを期待します。</p>
Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	a	<p>市や社会福祉協議会主催の各種研修会のテーマを見て、職員一人ひとりの得意、不得意分野の状況を考えた受講指名や本人の受講希望も考慮するなど、個別の研修計画を立てています。また、研修参加後は復命書を書いたり、職員会議で報告したりして、全員に周知するようにしています。</p>
Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	a	<p>実習生は積極的に受け入れる姿勢で取り組んでいます。受け入れる際には、オリエンテーションを行い、実習に対する心構えや姿勢を伝えています。また、保育士側も実習生を受け入れる際の心構えや指導方法を書面にして、意思統一を図っています。今後は、学校側に、学生の守秘義務に関する誓約書の提出を要請することを望みます。</p>

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-3 安全管理			
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	a	災害(地震、火事)、事故、感染症発生など、さまざまな災害に対してのマニュアルは完備しています。また、避難訓練は、毎月実施しています。さらに、消防署の協力により、火災訓練を実施しています。
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	a	事故が起きたときは、迅速で、適切な対応が大切です。そのための対処方法、役割分担や事故報告書などが整備されています。さらに当園では、事故を未然に防ぐことの大切さを第一義に考え、「事故防止チェックリスト」を作成し、毎日点検しています。 今後は、このチェックリストを見直し、室内、園庭、散歩コースなど、場所別に簡潔にわかるリストに改善していけば、いっそう充実したものになるでしょう。
Ⅱ-4 地域との交流と連携			
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 地域との交流・連携を図っている。	22	a	園庭開放や電話相談、あるいは、出前講座、小・中学生の保育園体験やボランティアの受け入れなど、できるだけ地域との交流を図るように努めています。園での行事や催し物については、ポスターの掲示やチラシの配布を行っています。
Ⅱ-4-(1)-② 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	a	近所に公園が多いので散歩では十分に活用しています。また、隣接する公民館でも、敷地内での遊びや野菜作りのお手伝いなどをさせてもらっています。浦安市では、図書館からの長期借り出しが可能なので、計画的に多数の絵本や図鑑などを借りて、子どもたちが楽しんでいます。
Ⅱ-4-(1)-③ 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	a	毎月「あそびましょ」という親子での遊びを紹介した情報誌を発行しています。この情報誌は、園庭開放時に遊びに来た親子に手渡ししたり、市の保育幼稚園課にも送ったりしています。公民館や地域の子育て支援センターなどでは、指人形や読み聞かせなどの出前講座や、電話相談も実施して、地域の悩める母親の支援をしています。
Ⅱ-4-(1)-④ 関係機関との連携を図っている。	25	a	気になる子が数人在籍しています。こども発達センターやまなびサポートと連携をとり、状況を詳しく報告して、巡回指導をしてもらっています。また、子育て支援センターや園医とも連携をしています。担当の職員には、発達関係の研修に率先して参加するよう奨励しています。
Ⅱ-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
Ⅱ-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	26	b	園庭開放時にアンケートをとったり、電話相談を行ったりしながら、どんな要望や悩みがあるか探っています。しかし、それだけでは十分とはいえないと感じています。今後は、職員と話し合っ、ニーズの把握方法や対処の仕方について、市役所、こども発達センターや公民館など、関係機関と連携をとりながら進めていこうとしています。
Ⅱ-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	a	アンケートや聞き取り調査で把握したニーズだけでは必ずしも十分とはいえません。しかし、中でも、公民館でのベープサポートや指人形の公演、出前講座や子どもの育ちについての話といった、専門性を生かした情報は提供しています。また、隣の公民館の敷地にある野菜畑で、地域の高齢者から野菜作りの指導を仰いでいます。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立富岡保育園

評価基準		評点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	項目 番号		
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	b	園長、副園長は研修を受けています。その内容については職員会議などで伝えていますが、園の全職員を対象にした研修は行っていません。個人面談の内容の守秘義務など、注意は促しているものの、職員のプライバシー保護に対する認識度に差があると園長は感じています。職員への研修や意識向上が今後の課題といえるでしょう。
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	b	これまで、プライバシー保護について、職員会議などで話題にはしてきました。しかし、その考え方の基本知識、保育に携わる者としての姿勢・意識、規程・マニュアルなどについて、職員に研修を行ってこなかったため、今、その取り組みをはじめています。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に務めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	a	連絡ノートの活用、保育参観後のアンケート、意見箱の設置などで利用者のニーズを把握しています。それらを分析し、園ができる支援、保護者が望んでいる支援などを文書化しています。これまで、勉強会や講演会なども企画しています。
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	b	利用者からの相談や意見があるときは、担当が聞き取り、それを職員会議で伝え、話し合う場を設けています。今後、利用者満足に関する調査の担当者や担当チームや、把握した結果を分析・検討する検討会などの設置が望まれます。
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	a	クラス担当や園長を通して、苦情・意見はいつでも受け付けていることを保護者に伝えていきます。園長が、クラス担任からの報告を受けることはよくあります。そのほか連絡ノート、時間外保育アンケート、意見箱などによっても苦情・意見を受け付けています。園関係者に話しにくい場合は、「市長への手紙」などの電子メールでも苦情・意見を申し立てることができます。「意見、要望等の受付書」によって、記録しています。
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	a	苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置して体制を整えています。寄せられた意見、要望に対する回答は「苦情解決結果報告書」に記録するとともに、職員会議で検討した内容や対応策は、利用者にフィードバックしています。園に言いにくい苦情は、園関係者を通さず第三者委員に申し立てることができるようになっていきます。また、保育フォーラムで出された意見、要望は、市が対応し、その結果は各園にフィードバックし、改善などに役立てています。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	b	利用者から意見や苦情が寄せられたときは、直ちに園長に報告され、その内容によっては、職員会議で対応策を検討し迅速に回答しています。緊急を要する案件では、園長判断で回答するものもありますが、事後に職員会議で報告し共有化しています。こうした苦情・意見は、保育計画の改善などにも反映しています。 現状は、意見・提案の記録方法や報告の手順、対応策の検討などについて規程したマニュアルがないので、これらの整備を望みます。

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	a	自己評価を行うとともに、事業者評価、利用者評価を年1回受審しています。自己評価は、園長の確認と面接があり「ことしの自己目標」を設定しています。事業者評価は市独自のもので平成15年から実施しています。利用者評価は全世帯に向け市から発送しています。これらの評価結果は、園にフィードバックされるので、サービスの向上に役立っています。評価結果の分析・検討を行うための担当チームも設けています。
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	a	自分たちの何が足りないかという観点から、評価結果の分析を行い、課題発見のための取組をしています。課題は文章化し、職員会議で検討して共有化を図っています。また、前年度と今年度を比較検討して、課題の進展の評価をしています。課題については、繰り返し話し合うことにより意識化しています。
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	a	職員の園児への対応についての話し合い、クラス運営の改善のための研修、保護者対応の検討などを通して、改善策や改善計画を策定しています。
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	a	職員一人ひとりが共通の個人ファイルを持っています。そこには、各種のマニュアル、年間の研修日程や行動指針などがファイルされていて、対応について常に参照できるように配慮しています。必要に応じてマニュアルによるシミュレーションや研修を行っています。職員会議には、このファイルを各人が必ず持参し、会議のテーマに応じて必要書類を参考にしながら会議を進めています。
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	a	職員や利用者からの提案・意見があった場合や、年度始めなどに職員会議で検討し、必要に応じてマニュアルの見直しを行っています。実績として、玄関の自動施錠の記録、見回りをチェック表に記録し遅番が担当する、作業日報を月1回提出するなどのサービス改善をしています。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	a	登園時の視診、看護師による健康観察は、看護日誌に記録しています。そのほか、「家庭との連絡表」や、未満児は「おたより帳」に、以上児は「連絡ノート」に、それぞれ記録しています。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	a	利用者の日々の状態変化などの情報は、「時間外保育ノート」(引継ぎノート)で伝えています。月2回の職員会議でも報告し、各年齢に共通する問題については、部門間での話し合いもしています。この時、ロールプレイングでシミュレーションすることもあります。 また、緊急を要する事や必要に応じて臨時的職員会議も開いています。

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	a	園利用に関する問い合わせには、いつでも対応しています。園内見学も随時受け付けています。見学者には市と園独自の2種の紹介パンフレットを渡し、説明と案内を行います。園紹介のパンフレットは、園と市役所には備えてありますが、公共施設には置いていないので、今後配慮が必要でしょう。なお、園庭開放の折に配布したり、在園児には毎年6月に配布しています。 体験入所にも対応していますが、関係機関からの紹介によるものが主で、市の審査があります。一時保育の希望も多いのですが、現在は実施していません。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	a	保育内容や料金など、重要事項の説明は市の担当課が行っています。入園面接時には、「入園のしおり」「入園案内」をもとに詳しい説明をしたり、用意するものの実物を見せたりして不安を取り除いています。その際、利用者の要望や家庭の様子などの聞き取りも十分に行っていますが、入園後も希望を聞き対応しています。
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	a	希望日に沿って利用者一人ひとりと個人面接を行い、具体的なニーズや課題の把握に努めています。把握した結果は、発達記録などに明示しています。 障害児保育に関しては、こども発達センターの指導を受けながら、課題を明確にして、保護者と連携をとり、子どもにとってよりよい保育環境を提供できるように努めています。
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定			
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	a	個人面談や保育参観・保育参加を行い、利用者のニーズ把握に努めています。把握した結果や日々の保育からの情報をもとに、一人ひとりの課題を明確にし、個別の指導計画や発達記録を作成しています。作成にあたっては、担任が基礎作りをして、それを主任、副園長、園長が検討し仕上げています。職員はほかのクラスの計画も随時見ることができるようになっていました。また、年間計画は各クラスのを全員が持っているので、クラスを横断した情報を共有しています。
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	a	翌月の指導計画を作成するときは、前月の評価・見直しを行い次月に生かしています。見直しの検討会議には、クラス担当全員と必要に応じてフリー保育士も参加しています。また、年4半期ごとに結果報告書を提出し、計画の進捗状況を確認しています。
Ⅲ-4-(3) 情報の管理			
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	a	個人情報保護の取り扱いについては、「園の概要」や「4月の園だより」に明示しています。新年度には、市が作成した個人情報保護に関するプリントを配布しています。また、個人情報にかかわる掲示物は、保護者の許可を得るのももちろんのこと、期間を限定して掲示しています。 なお、個人情報保護に関する規程の施設内での掲示がないので、早急に対処することを望みます。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立富岡保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 保育所			
IV-1 子どもの発達援助			
IV-1-(1) 発達援助の基本			
IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	a	保育計画は、子どもや地域の実態をとらえ、学年ごとの会議や職員会議で検討を重ね、約2年かけて平成17年に園独自の計画を作成しました。「日々登園する子を暖かく受入れ、心身ともに安定した状態での十分な遊びを通して、意欲と思いやりの心をはぐくむ保育」を重視し、保育計画は、発達の特徴をとらえながら、現在も定期的にグループごとにテーマを決めて検討会を行い、見直しを行っています。
IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	a	指導計画は担任が作成し、事務所主任・副園長・園長が指導・助言を行い、子どもの実態に合った指導計画となるように立てています。年間指導計画は期ごとに、月間指導計画は毎月、評価・見直しを行っています。
IV-1-(2) 健康管理・食事			
IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	a	健康管理に関するマニュアルがあり、登園時には視診を行い、看護師が朝と夕方に巡回し、保育士と連携を図りながら子ども一人ひとりの健康状態を把握しています。クラスごとに「引継ぎノート」があり、子ども一人ひとりの健康状態を共有できるようになっています。体調の変化があった場合の引継ぎは、遅番の保育士に口頭で伝え、保護者に確実に伝えるようにしています。怪我の場合は、担任が残って保護者に伝えるように努めています。
IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	a	健康診断は事前に保護者から文書で質問を受け、医師からの回答を看護師が文書で伝えていきます。健康診断の結果に特に異常がない場合は、文書で保護者に伝えていきます。医師からの助言を得て、歯磨き指導や手洗い指導に反映しています。虫歯の話看護師が紙芝居で行ったり、3歳児未満クラスの会議で排便後の手洗いについて検討するなど、0歳児も含めて手洗いの励行を心がけています。
IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	a	衛生関連のマニュアルがあり、子どもの手の触れるところはまめに消毒をしたり、使い捨ての手袋やマスクを常備し、いつでも清掃・消毒ができるように整えています。感染症予防については、看護師から随時伝えており、ほかの施設で感染症が発生した場合には、保育士に速やかに伝えて、対応策を取っています。保護者に対しても、園内で発生した場合は保育室内にすぐに掲示をしています。
IV-1-(2)-④食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	a	平成19年度のテーマの一つに「食育について」を掲げ、園が一丸となって取り組みを進めているところです。子どもが栽培した野菜を食材に取り入れたり、盛り付けを工夫したりしています。食事の量は、子ども一人ひとりの状況で加減をし、徐々に、食べられる量を最初から自分で決められるようにしています。クッキング保育では、味噌づくりも行っています。

評価基準		評点	コメント
IV-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。		7 a	<p>栄養士はできる限り保育室を回って、子どもと会話をしながら喫食状況の把握に努めています。職員会議で、食育について討議をする中で、保育士と栄養士が意見を出し合い、調理の工夫につなげる努力をしています。毎月1回のお楽しみメニューでは、盛り付けを工夫したり、暖かい給食の提供に努めています。</p> <p>今後は、保育士と栄養士がより率直に意見を出し合い、さらに食育を発展させる工夫を期待します。</p>
IV-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。		8 a	<p>試食会は保育参観時に行い、アンケートを実施しています。レシピを掲示したり、レシピが欲しいという要望があれば、保護者に配布しています。</p>
IV-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。		9 a	<p>除去食・代替食の提供は、一人ひとり細かい対応を行っています。毎月栄養士・担任・保護者で面接を行い、個別に除去食対応の献立を確認しています。除去食の献立は、同じ栄養価のあるものを提供することを第1に考えて工夫をしています。また、誤食のないように、何重にもチェックする体制があり、アレルギーの子どもの記録は、個人ファイルにして全職員が共有しやすいようになっています。</p>

評価基準		評点	コメント
IV-1-(3) 保育環境			
IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	a	清掃は毎日行われ、必要に応じて消毒も行っています。定期的に砂場の砂おこしも行っています。温度、湿度の管理は適切に行われ、採光、換気も配慮されています。事故防止チェックリストがあり、各保育室の安全面について定期的に点検をしています。
IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	a	「安全、安心して生活ができること」を第一に考えて生活ができるよう、工夫に努めています。0歳児は空間を2つに分けて、子どものペースで睡眠が取れるようにするなど、空間を上手に使い、より快適に過ごせるよう環境づくりに取り組んでいます。
IV-1-(4) 保育内容			
IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	a	保育士は、一人ひとりの子どもにいていねいにかかわることを心がけています。子どもの要求に対しては、なるべくその場で対応したり、子どもの話をじっくり聞いたりするよう努めています。子どもの午睡中に半日を振り返る時間を持ち、その中で適切でない言動や対応について話し合っています。「環境係」の会議の中で、人的環境についても取り上げ、保育士の動きや働きかけについて討議をしています。
IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	a	基本的な生活習慣については、子ども一人ひとりの発達や状況に応じて、無理なく進めています。トイレット・トレーニングについては、保護者に様子を伝え、保護者と連携を図りながら進めています。訪問調査時も、着替えや食事の場面で、子どもが自分であろうという気持ちを大切に、保育士は適宜に手伝ったり、子どものペースで食事をしたりしているところを何度も見ました。
IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	a	遊具や環境設定については、担当者を決めて定期的に検討をし改善に努めています。コーナーづくりについては空間の構造上、常設が難しい保育室もあります。ブロックの選択や廃品・素材・用具の準備、ごっこ遊びの手作り遊具など、子どもが主体的に遊びや製作に取り組める工夫が見とれます。今後も、子どもが十分遊べる環境設定に向けて、工夫を重ねていくことを期待します。
IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	15	a	散歩先の公園には恵まれています。広い芝生で遊んだり、運動したり、拾ってきた木の実などを利用して製作をしたりしています。花の苗を植えたり、公民館の畑でスイカやインゲンを収穫したりするなど、草花や野菜と触れる機会を多くもっています。また、近隣の老人会の方から昔の遊びを教えてもらうなど、近隣住民との交流も行われています。
IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	a	年齢に応じて、集団あそびやごっこあそびなど、子ども同士のかかわりが活発になるような遊びを取り入れています。3歳児以上のクラスでは、月に1回程度縦割り保育を実施しており、ふだんから年少の子どものおてつだいをしています。異年齢でお店屋さんごっこをしたり、運動会も異年齢児の種目も取り入れたりしています。3歳未満児のクラスも担任間で話し合い、少しずつ進めていく予定です。
IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	a	「子ども一人ひとりの気持ちや考え方を十分に認める」という共通認識のもとに、日々保育に取り組むよう努めています。宗教上の食物について配慮をしたり、言葉の意味疎通の難しい場合は個別の対応をしたりしています。市役所の国際交流課の通訳ボランティアを要請する体制もできています。
IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	a	園生活の中で、男女の区別、服装の色や遊びなどで性差に固定的な先入観をもった対応はしていません。「性差」だけでなく、子どもの人権を守ること、子どものプライバシーを尊重することを大切にしています。5歳児クラスの保育参加時には、子どもたちに向けて、自分の職業について保護者に話をしてもらっています。こうした取組は、男女による職業の区別や役割分業意識を植え付けないような配慮につながっています。

評価基準		評点	コメント
IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		19 a	<p>乳児保育は、子ども一人ひとりのペースを大切にしています。保健衛生に留意し、「安心できる人的、物的環境」のもとで、日々保育を行っています。</p> <p>調査時も、眠りにについている子どもがいる一方で、離乳食をゆったりと与えている姿も見られたり、早く目ざめた子どもが保育士とふれあい遊びをしていたりするなど、子ども一人ひとりのペースで過ごしていることがうかがえました。</p>
IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		20 a	<p>現在、時間外保育の充実に向けた取り組みを進めています。時間外保育サポーターには、日中の保育を経験する園内研修をしたり、クラス内で楽しんでいるゲーム遊びなどを保育士が教えたりしています。また、時間外サポーター会議を行い、子どもの状況を伝えています。</p> <p>子どもの状況については、クラスごとの「引継ぎノート」を活用していますが、園としてはまだ課題を感じています。今後も時間外保育の充実に向けて、さらなる取り組みを期待します。</p>
IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		21 a	<p>障害児保育は、こども発達センターやまなびサポートなどに定期的に相談したり、助言を求めたりしながら行っています。職員会議で子どもの状況について共有し、対応について話し合っています。定期的に統合保育会議の報告も行っています。</p>

評価基準		評点	コメント
IV-2 子育て支援			
IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	a	保護者との日常的な情報交換は、送迎時の会話や連絡ノートにより行っています。個人面談は、保育参観と同日に行っています。保護者からの要望があれば、いつでも面談に応じています。
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	a	家庭の状況は児童票に記録され、保護者との情報交換の内容は必要に応じて、発達記録の特記事項に記載していません。特記事項への記録は、だれが見てもその子どもの状況がわかるように記載するよう努めています。
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	a	懇談会は年2回行っています。懇談会では、保育士から保育目標やその年齢で大切にしていきたい事などを伝えています。欠席をした保護者には、懇談会で決定したことをクラスだけで伝えています。保育参観・保育参加は期間を長く設定して、参加しやすいようにしています。
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	a	子どもの日常の様子に変化は見られないか、看護師やほかの職員とともに、子どもの様子に常に気を配っています。虐待が疑われる場合には、速やかに園長に情報が届く体制となっています。
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	a	虐待が疑われる場合については対応方法が決められており、保育幼稚園課、こども家庭支援センターなどと連携が取れる体制となっています。
IV-2-(2) 一時保育			
IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	—	非該当